



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社インティメート・マージャー 上場取引所 東  
コード番号 7072 URL <https://corp.intimatemerger.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 築島 亮次  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部部長 (氏名) 寒澤 陽平 TEL 03 (5114) 6051  
半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,809	6.8	159	19.7	162	20.7	109	23.7
2025年9月期中間期	1,694	7.7	132	107.8	134	107.0	88	106.4

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 110百万円 (23.5%) 2025年9月期中間期 89百万円 (105.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	35.16	34.87
2025年9月期中間期	26.71	26.37

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	2,362	1,676	69.0
2025年9月期	2,191	1,556	69.1

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 1,630百万円 2025年9月期 1,513百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,704	10.1	284	25.1	283	23.8	185	20.6	59.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	3,163,250株	2025年9月期	3,120,350株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	21,521株	2025年9月期	21,221株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	3,125,337株	2025年9月期中間期	3,325,611株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定期的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年5月15日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2026年5月22日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。なお、決算説明会はオンライン開催とさせていただきます。その模様及び説明内容(動画)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、雇用や所得環境の改善やインバウンド需要の増加がみられ、緩やかに景気が回復する動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に加え、米国を巻き込んだイラン・イスラエル間の紛争激化など中東地域における地政学リスクが一段と高まっており、物価高止まりによる消費マインドへの影響、為替相場の変動や海外景気の下振れ懸念、ならびに国内における慢性的な人手不足など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

企業のデジタルトランスフォーメーションやデータ利活用が加速する環境下において、国内スマートフォンの主要シェアを占めるiOS（Safari）等では、プライバシー保護の観点からブラウザ上の行動データ捕捉が困難な状況が続いております。こうした中、当社が提供する「IM-UID」は、単なる規制への代替技術にとどまらず、ユーザーへのリーチや精緻な分析を実現するための不可欠な「データインフラ」として定着し、Googleアドマネージャー等のプラットフォームを通じた利用量が拡大しております。

加えて、急速に社会実装が進む生成AI領域においては、AIエージェントの駆動や回答精度の向上、さらには検索エンジン最適化（SGE/LMO）を目的として、AIに学習・参照させるための「高品質なオーディエンスデータ」への需要が急増しております。当社はこれらAIのパフォーマンスを左右するデータ供給元としての役割を担いつつあり、「ポストCookieソリューション」及び「AI時代のデータ活用インフラ」としての需要は順調に伸長しております。

ソリューション毎の経営環境につきましては、マーケティング支援においては、顧客企業のデジタルマーケティング内製化の高まりに合わせ、セルフサービスでデータ仕入れを行えるサービスの提供等を進めました。これにより単価は増加しているものの、広告運用の内製化が一部の顧客にとどまっており、アカウント数の増加は停滞気味となりました。

データマネジメント・データアナリティクスについては、ポストCookie領域におけるデータ利用ニーズの増加を中心に、売上・粗利ともに増加しました。当社独自の識別子である「IM-UID」がアドテク領域におけるデータインフラとして広がり、これを利用した広告配信量が増加したことで、データ利用料が順調に増加トレンドにあります。加えて、新規サービスや新たな課金体系のリリースにより、問い合わせや商談が増加しております。

成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」については、利益と単価向上のための不採算案件選別の自動化によりアカウント数は減少傾向にありましたが、新規案件の受注プロセスの効率化等により当四半期で下げ止まりました。質の高いアカウント獲得を効率的に行えていることで、単価については改善傾向が続いております。

費用面においては、サーバー費用等の固定原価や販促施策の費用負担増により販売管理費は増加しました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高1,809,551千円（前年同期比6.8%増）、営業利益159,137千円（同19.7%増）、経常利益162,089千円（同20.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益109,873千円（同23.7%増）となりました。

なお、当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は2,362,298千円となり、前連結会計年度末に比べ171,193千円の増加となりました。

流動資産は2,286,039千円となり、前連結会計年度末に比べ173,673千円増加しました。これは主に、現金及び預金が122,181千円増加したことによるものであります。固定資産は76,259千円となり、前連結会計年度末に比べ2,480千円減少しました。これは主に、投資その他の資産が1,704千円減少したことによるものであります。

##### （負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は685,873千円となり、前連結会計年度末に比べ51,222千円の増加となりました。

流動負債は607,218千円となり、前連結会計年度末に比べ60,889千円増加しました。これは主に、買掛金が90,403千円増加したことによるものであります。固定負債は78,655千円となり、前連結会計年度末に比べ9,667千円減少しました。これは主に長期借入金が9,966千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,676,424千円となり、前連結会計年度末に比べ119,970千円増加しました。これは主に資本金、資本剰余金がそれぞれ3,497千円増加したこと、また親会社株主に帰属する中間純利益109,873千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.0%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ122,181千円増加し、1,747,968千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は128,837千円（前年同期は150,548千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益162,089千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金はありません（前年同期に使用した資金はありません。）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は6,655千円（前年同期は1,955千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出9,996千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、2026年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,625,786	1,747,968
売掛金	462,190	500,613
契約資産	6,208	9,604
貯蔵品	513	1,853
その他	17,667	25,998
流動資産合計	2,112,365	2,286,039
固定資産		
有形固定資産	6,638	5,863
投資その他の資産	72,100	70,395
固定資産合計	78,739	76,259
資産合計	2,191,105	2,362,298
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	314,580	404,984
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払法人税等	71,460	57,809
契約負債	2,134	6,158
賞与引当金	25,109	27,409
その他	113,052	90,865
流動負債合計	546,329	607,218
固定負債		
長期借入金	80,008	70,012
資産除去債務	6,300	6,300
その他	2,014	2,343
固定負債合計	88,322	78,655
負債合計	634,651	685,873
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	478,170	481,667
資本剰余金	458,170	461,667
利益剰余金	596,314	706,188
自己株式	△18,681	△18,681
株主資本合計	1,513,972	1,630,840
新株予約権	17,089	19,332
非支配株主持分	25,390	26,251
純資産合計	1,556,453	1,676,424
負債純資産合計	2,191,105	2,362,298

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,694,359	1,809,551
売上原価	1,241,853	1,311,234
売上総利益	452,505	498,317
販売費及び一般管理費		
役員報酬	32,350	30,430
給料及び手当	131,372	142,859
法定福利費	27,567	28,643
地代家賃	17,401	17,401
減価償却費	992	775
業務委託費	12,984	11,742
賞与引当金繰入額	24,396	27,409
その他	72,511	79,918
販売費及び一般管理費合計	319,575	339,179
営業利益	132,930	159,137
営業外収益		
受取利息	776	2,157
為替差益	708	402
ポイント還元収入	501	897
その他	0	99
営業外収益合計	1,987	3,556
営業外費用		
支払利息	570	546
創立費償却	29	—
その他	0	58
営業外費用合計	600	604
経常利益	134,317	162,089
税金等調整前中間純利益	134,317	162,089
法人税等	44,643	51,355
中間純利益	89,674	110,733
非支配株主に帰属する中間純利益	850	860
親会社株主に帰属する中間純利益	88,823	109,873

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	89,674	110,733
中間包括利益	89,674	110,733
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	88,823	109,873
非支配株主に係る中間包括利益	850	860

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	134,317	162,089
減価償却費	992	775
株式報酬費用	7,849	2,535
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△832	2,300
受取利息	△776	△2,157
支払利息	570	546
売上債権の増減額 (△は増加)	△76,848	△41,819
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△98	△1,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,599	90,403
その他	34,850	△21,488
小計	157,623	191,843
利息の受取額	776	2,157
利息の支払額	△570	△546
法人税等の支払額	△7,281	△64,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,548	128,837
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,955	3,340
長期借入金の返済による支出	—	△9,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,955	△6,655
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	152,503	122,181
現金及び現金同等物の期首残高	1,622,116	1,625,786
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,774,620	1,747,968

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。